

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス おとのは		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R8年2月13日		R8年2月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童に手厚い人員配置を行っていること。(児発管1名、保育士3名、児童指導員4名、児童指導員等1名、支援員5名、看護師1名が職員としてと携わり、日々6名～8名程度の職員で子どもたちの伴走支援を行っている。)	・児童には、職員の呼び方を名前で呼んでもらい、児童が安心して過ごせる居場所を提供できるように工夫している。	
2	・放課後、児童が楽しみに通っていることを児童や保護者、相談支援専門員等からフィードバックをいただいていること。	・学生ボランティアや学生アルバイト、地域のボランティアや、地域行事への参加など積極的に地域交流できる機会を提案している。	・児童が地域のためにできることへの活動に発展すること。(EX:認知症サポーター養成講座を子どもたちが受講したので、高齢者への声かけ見守り、訪問活動や生活支援などのボランティア活動など)
3	・祝日に家族交流を含めた行事を提案していること。	・兄弟支援を含めた家族が参加できる行事を企画し、それぞれの家族も一緒に楽しめる行事を意識して企画をしている。	・気軽に話せる家族会への発展すること。(当事者が主体的に取り組めるように支援)

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児童が定員に達すると居場所が狭く感じる。	・子どもたちの居場所として、十分な環境が提案することが難しくなっていること。	・パーティションなどを上手く活用し個別に集中できる環境を提案すること。
2	・第三者評価を取り入れていないこと。	・事業所内で評価しているだけなので、客観的に見る目が乏しい。	・公正中立な立場から評価をいただき、より良い事業所運営に活かしていきたい。
3			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					・職員に周知し、適切に取り扱っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			1		・昨年度に引き続き十分に周知ができていない面があるので、わかりやすく情報提供を行えるよう工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			1		・安全計画に沿って、毎月のシェイクアウト訓練と年4回の避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					・安全計画に沿って危険ヶ所の点検や、外出時に、児童に危険ヶ所の周知や約束事を確認し事故防止に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					・適宜、状況に応じてご家族に連絡や送迎時に経過報告等を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					・安心して過ごせる居場所となるよう職員一同心がけています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9					・こどもとご家族から楽しみに通っている声を寄せていただいています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					・基本的なことを押さえ、積極的に研修に参加し実践できるよう職員教育に力を入れていきます。

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス おとのは		公表日		R8年3月25日	
		令和9年1月26日		令和9年3月			
		チェック項目	11	0	9	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	R8年2月13日	5	0	R8年2月23日	・屋外活動や小グループ活動を取り入れ、こどもの活動等のスペース確保を試みている。	・静養室以外にも静かに過ごせるスペースがあると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	5	・常時7名程度の職員を配置し手厚い支援を行っている。	
	3	R8年3月25日	5	0	0	・適宜、個々のこどもの状態に応じて視覚的な情報提供や体に合ったテーブル・イスの提供、建具や蛇口等の改修を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	0	・日々清掃と環境整備を行い、静かにゆったりと過ごす部屋、みんなが集う部屋、身体を動かして遊ぶ部屋を分けて活動している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	0	・適宜、宿題や創作活動など集中して取り組みたい児童に適した部屋の提案をしている。(パーティションの活用も含む)	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	0	行事や避難訓練など、振り返り評価を行いPDCAサイクルに取り組んでいる。	・昨年度に引き続き、現場に即した安全計画やマニュアルのブラッシュアップしていく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	・ホームページにて公開している。	・昨年度に引き続き、結果を踏まえて今後の方針を検討したり職員で共有をおこなう機会を意識的につくっていく必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	・職員との個別面談を実施している。(定期開催は年2回、その他適宜)	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	0		・安全計画始め各種計画の遂行が安定してきたのちに第三者評価を取り入れて行く予定である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	0	・積極的に外部研修受講をしている。 ・職員が均等に受講できるように配慮している。	・昨年度に引き続き、研修受講後の伝達研修の充実を図り、職員が共通の理解で支援に当たれるようにする必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	0	・ホームページにて公開している。	・こどもたちが見ても分かるような視覚的に見て分かる支援プログラムの作成を検討していく必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	0	・5領域(日常)家族支援(送迎時・祭日行事)地域支援・地域連携(地域行事の参加やボランティアの受け入れ等)を意識し提供している。	・こどもの発達状況に応じた意思の確認等工夫しながらアセスメントに取り組むことが必要である。(こどもにも分かりやすい表現を用いた計画を作成していくことも必要である。)
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	0	・出来る限り支援に関わる職員の声を聴き、支援会議でも共有を行っている。	・個別支援計画を作成するにあたり、子どもの発達状況に応じた意思決定の支援を強化する必要がある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	0	・クラウドシステムで、日々の記録の際に計画が表示され、チェックしている。	・個別の具体的な支援方針に沿って、取り組めていないことがあるので、取り組めるように工夫する必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	0	・5領域のアセスメントシートを活用しフォーマル、インフォーマルも含め行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	0	・ガイドラインを活用し、5領域の支援を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	0	・チームで検討し実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	0	・こどもの関心ごとや意見を聞いて予定を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	0	・日々個別と小集団のメニューを提案し関心ごとから取り組めるように伴走支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	0	・必要時に打ち合わせをしている。なお、打ち合わせの代わりにアプリやクラウドシステムを活用した情報共有を行っている。	・児発管から適宜情報発信し、チーム連携の取り組みをさらに強化する必要がある。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	5	0	・支援終了時に課題等がある時は、話し合い方針を決めている。または、振り返りの代わりにアプリやクラウドシステムを活用して共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0	・クラウドシステムを活用し日々の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	0	・個別支援計画の取り組みについては、クラウドシステムを活用し計画について特記が必要なことは記録を残している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	0	本人支援・家族支援・移行支援・地域支援を意識した計画を作成し、取り組んでいる。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	0	・児童の状態に応じて選択肢や視覚的な情報提供を行って児童自らが選択できるように工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	0	・こども家庭支援センターや基幹相談支援センター、医療機関のリハビリの立会や、学校等との支援会議に参加し連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	0	・家族や学校を通じて行事予定や下校時刻等の確認を行い、必要に応じ学校と連絡招請を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	0	引継ぎ資料を作成し、引継ぎ会議に参加している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	0	・利用者と同様して、就労支援事業所を積極に見学している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	0	・各種研修情報の発信を受け、適宜助言支援を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	0	地域の図書館や児童館を利用、公園や子どもクラブの行事、子ども食堂の開催等積極的に行っている	・児童館が地域の子どもの利用が多く、一緒に交流することが難しい一面もある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	0	・積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	0	・児童の様子をクラウドシステムに記載し保護者と情報共有している。また、送迎時や親子行事の際に児童の家庭の様子を伺い共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	0	・祝日の行事は加速参加を募り、保護者に30分程度の勉強会や懇談会を実施している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	0	利用契約時に全員に説明を行い、時間が無いときは、ポイントを絞って説明し、場面に応じて適宜補足等を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	0	面談、または送迎時に計画の内容説明を行い保護者から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0	送迎時の相談やメールにて情報発信があった際には適宜話し合いの場を設け、必要に応じて関係機関にも呼びかけ支援者会議を開催している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	0	祝日営業日に家族交流（兄弟交流）ができるようにバスハイクやスポーツレクリエーションなど企画し交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	0	・適宜、当事者、支援関係者等と連携を図り最善の状態に向けて対応を試みている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	0	・クラウドシステムやホームページから保護者に発信することと、チラシを作成し児童にイベントや訓練等のお知らせを掲示している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	0	・鍵のついた戸棚に保管している。 ・職員に秘密保護について説明し同意を得ている。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	・絵カードや単語レベルの情報で予定や意向を確認し見通しを立てた行動ができるように工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	0	・地域の精神ケアを招いてボランティアや民生委員等を受け入れ行事を開催、地域の加活動に参加したり活発に交流をしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	0	・安全計画に沿って各種マニュアルを整備し職員に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	0	・BCPを作成し安全計画に沿って計画的に実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	0	・アセスメントを実施して職員間で共有し、事故防止のための職員の共有スペースに掲示している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	0	・家族からの聞き取りを行い事故防止のため職員の共有スペースに掲示している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	0	・安全計画を作成し、計画に沿って点検や訓練、情報発信等を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	0	・安全計画を掲示し、ホームページにも掲載し周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	0	・ヒヤリハット様式を用意し、事が起きたときは記入して、事故防止や再発防止に努めている。	・個別記録に記載し、ヒヤリハット様式に載せきれていないこともあるので、もれなく記載し事例を積み上げていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0	・安全計画に沿って身体拘束・虐待防止の教育や説明、講習会に参加して防止に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	0	・身体拘束・虐待防止の教育や説明を従事者に行っている。必要に応じて個別支援計画に掲載している。		